

岡 歯 会 報



巻 頭 言 東北を元気に！ 〈p 1〉

東日本大震災 歯科医療従事者 派遣歯科医師 壮行式 〈p 2〉

東日本大震災 身元確認派遣歯科医師 報告会 〈p 3 ~p10〉

県歯 歯の衛生週間活動報告 〈p17~p19〉

2011 7 vol.774

岡山県歯科医師会



目 次

巻頭言 東北を元気に！……………岡山県歯科医師会 理事 塚本 裕子	1
県歯報告 東日本大震災 歯科医療従事者 派遣歯科医師 壮行式	2
東日本大震災 身元確認派遣歯科医師 報告会	3
ケータイメーリングリストを通じて	7
宮城 身元確認派遣報告	8
身元確認出動日程表	10
Open the 理事会	11
山陽新聞掲載記事	16
対外広報 「県歯 歯の衛生週間活動報告」	17
もも丸くん、仁美小学校に出現 !!	18
「歯の衛生週間」対外広報活動報告	19
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (83)	20
社会保険部 第2回 社会保険部検討委員会報告	22
公衆衛生部 第18回日本歯科医療福祉学会大会・総会 地域医療連携 一人々の健康と生活を支える連携とはー 後記	23
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日 (7月・8月)	24
医療管理部 医療管理ニュース 保健所による医療監視が、始まります !!	25
新人会員紹介 新人です よろしくお願ひします。	26
厚生部 文化事業部会 平成23年度 レクリエーション大会 (東日本大震災復興支援チャリティー大会)	26
支部モニター 赤磐支部	27
岡山支部	28
倉敷支部	29
リレー随筆 「サイクリング」 平松 之典 (岡山支部)	31
会員異動	32
7月の収納金	32
5月 会の動き	32
7月 本会の予定	33
7月 支部の予定	34
こちら編集室	34

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙作品 「群 生」
倉敷支部 田辺 省二 先生



東北を元気に！

岡山県歯科医師会

理事 塚本 裕子 (新任)

文月となりました。3月11日に発生した東日本大震災から、はや4ヶ月を迎えようとしております。しかしながら、なかなか進まぬ仮設住宅の設置、ライフラインの復旧、原発事故の未終息の事を思うと心が痛みます。

「晴れの国岡山」に生まれ育った私は、大地震も経験なく、台風の影響もあまりなく過ごせて岡山地方は幸せな所だと改めて感じているこの頃です。

さて、身元確認派遣歯科医師の要請を受けて、岡山県歯科医師会より6名の先生が宮城県へ派遣されました。過酷な状況の中で身元確認作業が行われている事を聞き頭が下がる思いがいたします。

今春より、浅学非才でしかも女性でありながら歯科医師会の理事として任命して頂いて、大変恐縮し戸惑っております。しかし、藤井龍平副会長がいつも言われている「チーム酒井」の執行部の一員として会務に励めと言われ、執行部の先生方に助けて頂きながら、これからも「会員益」のため頑張っていこうと思いますので何卒よろしくお願い致します。

井原市出身で近代彫刻界に不滅の金字塔を打ち立てられた平櫛田中翁の言葉に「いまやらねばいつできる、わしがやらねばだれがやる」という名句があります。少し恥ずかしいようですが、今その気分で頑張ろうと思います。私に与えられた担当部門の厚生部文化事業部会では「東北を元気に！」というこ

とで、「東北三県の日本酒を楽しむ会」というイベントを企画しております。風評被害にあっている東北の野菜や特産物を食べながら、さらに東北のお酒やめずらしいさくらんぼワインを飲みつつ懇親を深めて頂ければと考えております。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

東日本大震災 歯科医療従事者 派遣歯科医師 壮行式



6月1日(水)午後8時より岡山県歯科医師会館3階に於いて、厚生労働省医政局歯科保健課より東日本大震災への対応として協力依頼を受けた日本歯科医師会の要請により歯科医療従事者として宮城県に入られる岡山県歯科医師会員4名の先生方の壮行式が行われました。

1. 酒井会長挨拶

本日は6月12日(日)から一週間余にわたる日歯・医療従事者派遣歯科医師として手を挙げていただき有難うございます。先生方の尊い志にただただ感謝の気持ちで一杯です。

歯科医師という職業を通しての社会貢献、被災者の皆様の役に立ちたいという先生方の温かい想いに本会1,100名の会員になりかわりまして御礼と感謝を申し上げます。被災地での一週間は短いようで長いと思います。くれぐれも健康に留意されまして所期の目的を果される事を願っております。

2. 自己紹介

渡里 浩明 (岡山支部)
井上昌次郎 (勝・英支部)
小林 昌洋 (岡山支部)
居樹 秀明 (岡山支部)



3. 協 議

- 1) 班分け
- 2) 準備物について
- 3) 被災地への往復手段について
- 4) その他

4. 閉 会



東日本大震災 身元確認派遣歯科医師 報告会

6月3日(金)午後8時より、宮城県警及び宮城県歯科医師会の要請を受けた日本歯科医師会の依頼により5月18日(水)から5月24日(火)の1週間、岡山県歯より身元確認派遣歯科医師として宮城県入りし、作業に従事された6名の先生方にお集まりいただき、お話を伺いました。

派遣団員出席者

松本 浩一 (和気支部), 谷 俊彦 (玉野支部), 橋本 真治 (倉敷支部)
渡辺 治 (玉島支部), 水川 正弘 (吉備支部), 貞森 平樹 (勝・英支部)

本会出席者

酒井 昭則, 藤井 龍平, 黒住 正三, 大嶋 敏秀, 鈴木 聖次, 東原 慶和, 中村 慶男

警察歯科医会

小橋 進, 横見由貴夫, 西田 宜可, 江口 邦成

事務局出席者

高原 義章, 吉田 功次

(敬称略)

1. 酒井会長挨拶

6名の先生方、本当にありがとうございました。お帰りになって十数日が過ぎていますが、2011年3月11日に東日本大震災という惨劇があり、その身元確認作業に本会から6名の先生方が自発的に参加いただいたという大変に意義のある尊い志と足跡をしっかりと歴史に刻んで後輩たちに伝えていきたいと思っています。改めて先生方の今回の出動に敬意を表し、感謝と御礼に代えさせていただきます。

2. 花束・記念品贈呈



3. 派遣団 松本団長挨拶

本日はこのような席を設けていただきありがとうございました。6名を代表してお礼申し上げます。派遣事業に際しましては多少の不安もあったのですが、5名の先生方の職業意識の高さと冷静沈着な対応、そして岡山県歯科医師会の先生方の心強いバックアップのおかげで、死体検案33体、照合37件、その他の問い合わせにも対応でき、30体以上のご遺体をご家族の元へお返しする手助けができたことに安堵しております。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

4. 団員挨拶

松本 浩一 先生（和気支部）



団長として何をしたらいいのかと不安を抱きながらの出発ではあったのですが、5名の先生方のしっかりとした考えと情熱に助けられ、職務を全うすることができました。特に、県歯から配布されたコスチュームを身につけると、身の引き締まる思いで活動することができました。ありがとうございました。作業は、歯科医2名、警察官2名、検死医1名のチームで活動するのですが、最初の3日間は蒸し暑い中で、4日目からは厳しい寒さの中だと温度差20℃以上というきつい作業となりました。個人的には、悲惨な光景を見ていると思いが込み上げる時もあり、ひとりの人間に引きもどされる瞬間には涙ぐむこともありました。ひとつのエピソードですが、気仙沼で同行された渡辺先生の同級生で、すべてを津波で失われた先生にお会いしていろいろお世話になり別れ際に握手をして何気なく「がんばってください」と声をかけたのですが、その先生は涙を流され「この年になってがんばれと言われても正直つらいんだよね。僕の患者半分死んじゃったんだよね」と答えられた時には、ただただ涙があふれて手を握るしかなかったのが思い出されます。帰岡してもそのような光景が思い出されて悲しくなることもありますが、この経験をバネにしてがんばっていこうと思います。ありがとうございました。

渡辺 治 先生（玉島支部）

このたびの派遣に際し、酒井会長はじめ県歯執行部の先生方ならびに会員の先生方には様々なご配慮をいただきました事に対して、まずもってお礼申し上げます。私は20数年病理学者として病理解剖、病理診断に携わってきました（死体解剖資格認定第5310号）。その際には、恩師の山村教授の「何で亡くなられたとしても死因を究明し、ご遺体の人間としての尊厳を守り、正しい診断を行う」という言葉を肝に銘じて事にあたり、指導する立場になっても後輩達に伝えてきました。今回未曾有の大災害が起こり、居ても立ってもいられない思いで手を挙げさせていただきました。現地は涙も出ないくらい悲惨な状況です。実際はマスコミで流



すことのできないとなんでもない状態もたくさんありました。また、ご遺体も腐敗が進んでいて鑑定できない方々も多数いらっしゃると思います。その方が生きていたという証し、すなわち人間としての尊厳を記録として残し、少しでも多くの方々をご遺族の元にお返ししたいという一念で活動してまいりました。少しは歯科医師として病理学者としての知識や経験がお役にたてたかなと思っております。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の一刻も早い復興を祈っております。いろいろありがとうございました。

谷 俊彦 先生（玉野支部）



岡山県歯科医師会の先生方にサポートしていただき、心強い思いで活動することができました。大変感謝しております。影になり日向になりのご支援本当にありがとうございました。私は警察歯科医会でお世話になっていることと、医院においても少し余裕がある立場でいることを生かして、ぜひこの派遣事業に参加したいと思い手を挙げさせてもらいました。現地では結構大変な活動となりまして、帰岡しても疲れが残ったりして、ご心配をおかけしました。申し訳ありませんでした。自分なりに微力ではありましたが結果も出せたと思っています。いろいろありがとうございました。

水川 正弘 先生（吉備支部）

今回このような機会を与えていただき感謝しています。阪神大震災や中越地震では義援金をさせていただいただけで、もどかしい思いをしました。が、今回の東日本大震災では自身の体を使い歯科医師として何かやりたいと思っていたところにこの話をいただき、手を挙げさせていただきました。今まで経験がない作業なので、「もし自分が見誤ってしまった結果、ご遺体をご家族に届かなかったらどうしよう」といった不安がありましたが、団長の松本先生を始め同行した5人の先生、特にペアを組んでいただいた谷先生には現場で多くのアドバイスをいただき、助けてもらいながらも少なからず手助けができたと感じています。



初日に診させていただいたご遺体の傷みが激しく、舌が肥大して口から飛び出していた為、口の中に押し込めようとスパチュラなどを使って苦労していると、一緒にペアを組んで作業していた20代の警官が、手袋一枚の手で舌を押し込んでくれました。この若い警官の姿に勇気をもらい、専門職である自分も頑張らなければという想いが高まりました。あるいは、ご遺体を確認にこられたご家族の姿や遺骨を持ち帰られる若い女性の姿を見て、「来てよかった。少しは手助けが出来たかな」といった気持ちになりました。十分な仕事が出来たかどうかは、帰ってきてからもいろいろ反省点はありましたが、今回このような場を設けて下さり、有難うございました。

橋本 真治 先生（倉敷支部）



このたびは県歯のバックアップのもと、自分にとって貴重な経験となる活動をさせていただきありがとうございました。私は25歳の時の御巣鷹山航空機墜落事故や35歳での阪神淡路大震災の当時は、自分がそこに行って働くことに思い至りませんでした。しかし後々詳細を知るほどに、もし再び大災害あらば絶対に何かしようと決めていました。

はたして3月11日東日本大震災が起きました。出身大学が岩手ということもあり、なおさら現地には思い入れがありました。当初は生存者に初期支援をしたく、15日岩手県警に検死業務とひきかえで高速通行許可を願い出ましたが無理でした。せめてもと日歯からの派遣リストに登録し、報道を見るたび悔やむ気持ちの中で2ヶ月が経った頃、やっと岡山にも出動要請が参りました。

現地にはテレビで何度も見た悲惨な光景がまだまだ広がっていました。津波の特徴で、水の届いた高さや道路を境に、かたや滅茶苦茶、かたやほぼ無傷という明暗のくっきり分かれた被災の在りようでした。けれど自分の目で大都市の仙台市街や周囲の里山の田畑が立派に機能しているのを見て、日本中が力を合わせれば今回の被害は必ず支えられるという確信を持ってました。

検死作業が始まると、私が欲しいと思った器具を絶妙のタイミングで器具出しアシストしてくれる警察官や、腐敗したご遺体の、泥や小枝が絡みついた頭髮を愛しむかのごとく漉くようにして洗い、口元にあふれるウジを流しブラッシングしてあげる若い警察官の姿に、感謝の念とともに彼らの2ヵ月間にわたる苦闘の日々を思わずにはいられませんでした。またホテルは被災地の復旧のために全国から集まったいろんな分野の作業員でいっぱいでした。毎朝めいめい散っていったのは同じ頃疲れて帰ってくる互いに名も知らぬ人々の間には無言の連帯感がありました。そんな人々の中に、微力ではありますが自分もいられたことを本当によかったと感じております。

貞森 平樹 先生（勝・英支部）

押し寄せる津波のTV映像を見た時には、ただ茫然として言葉が出ませんでした。2か月経っても被災地が映る度に心に込み上げるものがあり、「歯科医として自分に何かできないか」と思っていたところ、身元確認の派遣要請があり、現地に行ってお手伝いしたいと思いました。被災地の先生から検死状況を聞き、とにかく注意したのは自身の体調を崩さないようにする事でした。2人1組で行動するので、迷惑がかかるからです。何処に行っても周囲の環境を意識せず、自分に出来る事を心がけチャート作りに集中しました。体調管理に努め無事に5日間を終えることができて、本当に良かったと思います。ちょうど私たち岡山県チームが宮城県でご遺体の照合をしていた期間、自宅近所の身内の方ががれきの下から発見されご遺族の元に帰ったとい



う話を帰岡後に妻から聞き、何かの縁のようなものを感じて驚きました。

東北は非常に美しい山が連なり、青々とした山の頂にはまだ残雪が見えていました。五月晴れの美しい風景とは対照的に沿岸部では悲惨な光景がはてしなく広がっていました。被災されたご遺族の為に少しでも力になれたと信じています。最後になりましたが、県歯のバックアップなくして今回の任務は遂行できませんでした。心より感謝いたします。

ケータイメーリングリストを通じて

日歯からの出動要請は突然やってきた。

「あの日から時間が経過するにつれて、被災地では見つかるご遺体は少なくなり、腐敗も進んできているのでこれからはDNA鑑定が主体となる。恐らく出動要請が来ることはないだろう」こんな声があったところから聞こえ始めていた。そんな矢先、1週間後に6名宮城県に派遣せよ！それも1週間という期間である。早速、身元確認派遣にご登録いただいていた11名の先生方にファクスでお知らせしたところ、驚くことに2時間後には6名の先生が決まっていた。

何が先生方を動かしたのだろうかと考えると、使命感、責任感もあっただろうが、渡辺先生のお言葉をお借りすると「ご遺族の気持ちになって、ひとりでも多くご遺族の元へお返ししたい」という思いや気持ちがすべてだろうと思った。決断力、行動力…頭の下がる思いがした。

5月12日の打合せ会のあと、谷先生が6名+事務局吉田+私の8名によるケータイメーリングリストを作ってくださった。準備物資の相談に始まり、初めて各地に散らばる日の朝の緊張感、気仙沼までの長い行程こと、連帯感が生まれつつある気配、橋本先生が如何にタフかということ、地元の警察官との心のふれあい、3日目あたりでそろそろ疲れも出始めたこと、被災され診療所も全壊した地元の先生方との会話等など、メーリングリストを通じて、遠くはなれた岡山の地にいる私もその輪の中にいる錯覚にとらわれるほどだった。また、松本チーフには、その日の活動状況や経過等を夕方には必ずご報告いただき、日々の息災を確認し安堵していた。ミーティング前のお忙しい時間帯に毎日有り難うございました。

限られた日数の中での初めての経験とはいえ、準備物資の不備等により先生方にご不自由をおかけしたのではないかと反省しています。しかし、私にとっては後方支援のあり方を知る良い機会となりました。先生方、本当にお疲れ様でした。

(理事 横見由貴夫)



さあ、出動！！



(地震) + (津波) + (火災) の惨状
気仙沼市



遺体の洗浄 業務にあたる警察官
気仙沼市 すぱーく気仙沼



水川先生 検案作業中
気仙沼市 すぱーく気仙沼



貞森先生 デンタルチャート作成中
気仙沼市 すぱーく気仙沼



検案所 角田市 旧角田女子高
(渡辺先生)



検案所 角田市 旧角田女子高



検死にあたる警察官
石巻市 旧石巻青果市場



遺体安置所 角田市 旧角田女子高



石巻市 仮埋葬所



常磐線坂元駅

身元確認出動日程表

3月14日	日本歯科医師会より身元確認出動歯科医師登録要請
4月	11名の歯科医師名を日本歯科医師会へ連絡し登録
5月10日	警察庁より日本歯科医師会を通じて宮城県への出動要請 6名の派遣歯科医師が決定
12日	身元確認派遣歯科医師打ち合わせ会及び壮行式 チームリーダー 松本浩一 班編成 松本班…松本浩一 渡辺 治 橋本班…橋本真治 貞森平樹 谷 班…谷 俊彦 水川正弘 (敬称略) 携帯メーリングリストの作成
13日	準備品の調達と県歯会館にて準備品の梱包作業
14日	準備品を宮城県の宿泊ホテルへ発送
18日	仙台へ向け出発 19時より宮城県歯科医師会館において身元確認作業についての研修を受講
19日	身元確認作業第1日目 松本班…角田 橋本班…気仙沼 谷班…南三陸 (合計) 検案8体 照合11件
20日	2日目 松本班…石巻 橋本班…角田 谷班…気仙沼 (合計) 検案8体 照合12件
21日	3日目 松本班…気仙沼 橋本班…石巻 谷班…角田 (合計) 検案9体 照合8件
22日	4日目 松本班…角田 橋本班…気仙沼 谷班…南三陸 (合計) 検案3体 照合3件
23日	5日目(最終日) 松本班…石巻 橋本班…角田 谷班…気仙沼 (合計) 検案5体 照合3件 19時より宮城県歯科医師会館において宮城県歯会長より謝辞 (松本チーフが出席)
24日	帰岡 <u>総合計…死体検案33体, 照合37件</u> 報告書等の作成
6月3日	身元確認派遣歯科医師報告会の開催

Open the 理事會

羅針盤

会 長 酒井 昭則



6月18日、平成23年度 中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会が岡山で開催されました。日歯・日歯連盟・中四国から会長、役員の方々にご出席いただきました。その中で特に印象に残ったのは、石井みどり議員が山形県歯科医師会の要請で南三陸町に入れ、口腔ケアの現場で被災者への支援をされたという話です。議員として4年が経ちますが、歯科医師会の代表であるという意識を心の奥底で持っておられる。歯科医師としての誇りと国会議員としての立場が相まって、歯科界の為に尽くしたいという使命感をひしひしと感じました。時間の経過の中で淀みがちになりやすいものですが、彼女の姿勢に胸を打たれ、今後もしっかりと支援あるいは後押しをしていかなければならないと改めて思いました。

平成23年度 第6回
平成23年 5月12日(木)
18:30~19:56

1. 会長挨拶

宮城県の身元確認作業に行って頂ける本県の6名の先生に敬意を表します。一昨日の昼に日歯より依頼があり、担当理事と事務局が一体となり準備に当たり、既に用意万端整えて頂いている様です。目的意識を共有していることが好循環につながっているように感じています。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 5月6日(金)
- (2) 厚生部共済事業部会 5月6日(金)
- (3) 広報部委員会 5月6日(金)
- (4) 社保 審査・検討小委員会 5月7日(土)
- (5) 社保 検討委員会 5月7日(土)
- (6) IT推進委員会小委員会 5月9日(月)
- (7) 学術部 救急蘇生講習班会 5月10日(火)
- (8) 公衆衛生部小委員会 5月10日(火)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 福岡歯科大学岡山県同窓会学術講演会（社保講習会） 4月30日(土)
- (2) 赤磐支部救急蘇生講習会 5月12日(木)
- (3) 中国四国厚生局岡山事務所との協議会 5月12日(木)

〔その他〕

- (1) 検死 4月8日(金)
- (2) 山陽新聞事業者と打合せ 4月28日(木)

〔学院報告〕

- (1) 振替休日 5月2日(月)

〔国保報告〕

- (1) 理事会 5月10日(火)

〔事務局報告〕

- (1) 1階自販機の交換

- (2) 差引金について

3. 行事予定

本会行事	34件
学院行事	8 件
国保組合行事	3 件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県愛育委員連合会・恩賜財団母子愛育会
岡山県支部より平成23年度総会並びに研修会
の開催と出席依頼について

酒井会長

日 時 5月25日(水) 10:00～15:30

(式典 13:00～14:00)

場 所 岡山衛生会館 三木記念ホール

- (2) 日本歯科医師会より被災地復興に向けて元氣
を送る会～日歯・日歯連盟新役員との集い～
の開催と出席依頼について

酒井会長, 藤井副会長

日 時 6月2日(木) 16:30～18:30

場 所 ホテルニューオータニ

- (3) 三井住友海上火災・モスト岡山より懇談会の
開催と出席依頼について

6月10日(金) 19:30 に変更

日 時 6月13日(月) 19:00

場 所 紺屋荘

三役+西田常務, 南理事, 横見理事

- (4) 岡山県健康づくり財団より理事会の開催と出
席依頼について

酒井会長

日 時 6月28日(火) 13:30

場 所 岡山県南部健康づくりセンター

- (5) 岡山県看護協会より平成23年度訪問看護推進
協議会委員の推薦依頼について

横見理事

任 期 平成23年4月1日

～平成24年3月31日

前任者 池田泰章 前理事

- (6) 玉野海上保安部長より本会との連携体制の構
築に関する海上保安歯科医の推薦について

横見理事 対応

推 薦 歯科医師4名

(玉野2名, 水島2名)

- (7) 平成23年度学校保健に関する文部科学大臣表
彰にかかる被表彰者の推薦について

検討中

期 日 5月31日(火)

- (8) 青少年問題を考え, 行動する100人委員会よ
り平成23年度青少年問題に対する各団体の具
体的な行動計画の作成等の提出依頼について

検討

締 切 5月16日(月)

総会予告

日 時 7月1日(金) 13:00

場 所 メルパルク岡山

- (9) 岡山県歯科技工士会より本会役員名簿の提供
依頼について

承 認

- (10) 岡山県健康づくり財団より対がん活動会費の
納入依頼について

承 認

〔検討事項〕

- (1) 本会会館使用申込について

いずれも承認

①日 時 7月9日(土) 18:00～21:00

主 催 岡山大学歯学部同窓会

②日 時 8月20日(土) 13:00～17:00

主 催 明海大学歯学部同窓会

③日 時 平成24年1月29日(日)

9:00～18:00

主 催 岡山市歯科医師会

- (2) 退会会員の再入会希望について

岡山支部の意向をもって, 検討

(3) 所得補償保険の一部変更について

承認

5. 閉会（平岩常務理事）

今日の視点（南哲之介）

「力のある奴は力を出そう。知恵のある奴は知恵を出そう。お金のある奴はお金を出そう。自分は何にも出せないって奴は元気を出そう」震災直後、松山千春のラジオ放送の一節である。

報道で見る限り、2ヶ月が経過した今でも、被災地への政府の対応は遅々として進まず、現場の必死の努力にも関わらず、許認可の壁に阻まれて停滞している感が否めない。

県歯では、今までに義援金、支援物資の協力要請等行ってきたが、宮城県警・日歯より検死並びに被災地の歯科医療確保のため人員の派遣要請が届いた。早速12日から、6名の会員が検死のため一週間の日程で現地に赴くこととなり、引き続き歯科医療チームの人選が行われている。

事象を風化させることなく、改めて自身には何ができるのかを考え、行動していきたい。

平成23年度 第7回
平成23年 5月19日(木)
18:30~20:40

1. 会長挨拶

昨日と今日、被災県に見舞金を持って回って来ました。新幹線の車窓からは田園風景が広がり、一見のどかなように見えたが、新幹線の時刻は乱れ速度も落としていました。仙台駅の階段は補修されていましたが、あちこちに震災の爪痕が残っていました。新築したばかりの福島県歯科医師会には、支援物資が山積みされていました。

2. 報告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 5月12日(木)
- (2) 医療管理部 正・副委員長会 5月18日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 身元確認派遣歯科医師壮行式 5月12日(木)
- (2) 日学歯 公益法人制度改革検討委員会 5月13日(金)
- (3) 第13回三地区歯科医師会親善野球大会 5月14日(土)~15日(日)
- (4) 第18回日本歯科医療福祉学会 5月15日(日)
- (5) 四国地区「平成23年度日歯生涯研修セミナー」 5月15日(日)
- (6) 支払基金幹事会 5月16日(月)
- (7) 身元確認派遣 5月18日(水)~24日(火)
- (8) 東北三県見舞金持参 5月18日(水)~19日(木)
- (9) 日学歯 理事会 5月18日(水)
- (10) 平成23年度岡山県学校保健会第1回理事会・評議員会 5月19日(木)
- (11) 県教育庁と打合せ 5月19日(木)
- (12) 岡山県医療安全相談連絡協議会 5月19日(木)

〔その他〕

- (1) 山陽新聞事業者と打合せ 5月12日(木)

〔学院報告〕

- (1) 防災訓練 5月13日(金)
- (2) 臨時学院運営協議会 5月13日(金)
- (3) 御野幼稚園・御野小学校リハーサル 5月14日(土)

〔事務局報告〕

- (1) 義援金 集計 281機関 3,268,468円（19日現在）
- (2) 民主党 柚木議員が来会

3. 行事予定

本会行事	32件
学院行事	5件
国保組合行事	4件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 第35回「歯の健康フェア」開会式への臨席依頼並びに懇親会の開催と出席依頼について
酒井会長，黒住副会長，平岩常務，横見理事（開会式）

日 時 6月5日(日)

開会式 10:00

懇親会 18:00

場 所 くらしき健康福祉プラザ（開会式）

倉敷国際ホテル（懇親会）

酒井会長，黒住副会長，平岩常務，横見理事，
角谷委員長（懇親会）

- (2) 第11回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会
関連行事の開催と出席依頼について

学術部で対応

日 時 6月25日(土)

幹 事 会 10:00～10:30

協 議 会 10:30～12:00

学術大会 13:00

懇 談 会 18:00

場 所 千葉市文化センター

（幹事会・協議会・学術大会）

三井ガーデンホテル千葉（懇談会）

- (3) 第35回中国地区口腔公衆衛生協議会の開催と
協議題並びに出席者提出依頼について

公衆衛生対応

日 時 7月21日(木) 14:00（協議会）

17:00（懇親会）

場 所 ホテルニューオータニ鳥取

黒住副会長，平岩常務，横見理事，委員長2
名，事務局

- (4) 日歯広報「会員モニター」の推薦依頼について
前回依頼者に再度依頼する

人 数 3名（役員以外の会員）

期 限 5月31日(火)

- (5) 岡山県臓器バンクより法人賛助会費納入依頼
について

承認

- (6) 岡山県国民健康保険団体連合会より審査委員
会委員候補者（保険者代表）の推薦依頼につ
いて

社保対応

人 員 3名

任 期 平成23年6月1日

～平成25年5月31日

- (7) 平成23年度へき地，地域及び救急医療事業功
労者知事表彰の推薦について

検討中

締 切 6月27日(月)

- (8) 日本歯科医師会より歯科医療従事者派遣依頼
について

登録者の予定を聞く

期 間 6月12日(日)～19日(日)

実動13日(月)～18日(土)

人 数 4名（歯科衛生士は日衛に依頼）

場 所 宮城県

- (9) 平成23年度子どもの健康を守る地域専門家総
合連携事業に係る学校保健推進協議会の委員
推薦について

平岩常務

実施期間 平成23年5月下旬

～平成24年2月29日

現 任 者 平岩常務理事

〔検討事項〕

- (1) 本会入会申込みについて

すべて承認

正会員 こしむね 越宗 しんじろう 紳二郎（赤磐支部）

正会員 そのだ 園田 しんすけ 伸介（玉野支部）6月1日入会

- (2) 本会会館使用申込みについて

すべて承認

①日 時 6月11日(土) 19:00～21:00

主 催 明海大学歯学部同窓会

②日 時 6月25日(土) 17:00~19:00

主 催 大阪大学歯学部同窓会

5. 閉 会 (西岡理事)

今日の視点 (東原慶和)

5月12日、東日本大震災身元確認派遣歯科医師として宮城県入りされる岡山県歯6名の先生方の壮行式が行われた。また、歯科医療従事者として派遣要請を受けた4名の先生方も6月12日には宮城県入りされることが決まった。1週間も休診されて参加される先生方の決断には本当に頭の下がる思いである。最近、震災関係の記事を書く機会が多いが、特にこの2件に関する記事には、特別な思いがあった。

平成23年度 第8回
平成23年 5月26日(木)
18:30~20:35

1. 会長挨拶

石井みどりNEWSを机上配布しています。災害に関連する歯科医師会の対応等について国会で質問しておられました。上手くやってくれ、頑張れと同族意識、身内意識が自分の中にわいてくるのを感じました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 5月19日(木)、23日(月)
- (2) 山陽新聞事業社と打合せ 5月19日(木)
- (3) 学術集談会講師打合せ 5月22日(日)
- (4) 学術部正・副委員長会 5月24日(火)
- (5) 厚生部文化事業部会 5月24日(火)
- (6) 総務部調査事業部会 5月25日(水)
- (7) 医療管理部小委員会 5月25日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 日学歯 公益法人制度改革検討委員会
5月13日(金)
- (2) 日学歯 理事会 5月18日(水)
- (3) 日学歯 日歯三役との懇談会 5月19日(木)
- (4) 岡山県国民健康保険団体連合会理事会
5月23日(月)
- (5) 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
5月24日(火)
- (6) 岡山県愛育委員連合会・恩賜財団母子愛育会
岡山県支部平成23年度総会 5月25日(水)

〔学院報告〕

- (1) 教務会議 5月20日(金) 高校訪問開始

〔国保報告〕

- (1) 節目検診 医療費通知

〔事務局報告〕

- (1) 義援金集計報告

3. 行事予定

本会行事	41件
学院行事	5件
国保組合行事	4件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県歯科保健計画策定作業部会委員の就任承諾依頼並びに第1回作業部会の開催と出席依頼について

3名就任を承認

日 時 6月9日(木) 14:00~16:30

場 所 岡山県立図書館

委 員 平岩常務理事, 横見理事,
角谷委員長

- (2) 岡山県警察友の会より理事会・総会の開催と出席依頼について

事務局対応

日 時 6月28日(火) 理事会 16:15

総 会 16:45

場 所 岡山プラザホテル

理事会 4 階

総 会 4 階

〔検討事項〕

- (1) 平成23年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康
づくり推進事業連絡協議会の開催と参加案内
について

平岩常務理事 出席

日 時 6月23日(木) 13:00

場 所 日本歯科医師会館

その他 各団体2名以内

5. 閉 会 (東原理事)

今日の視点 (西岡宏樹)

今期も前期同様30名の委員で社保検討委員会が
始動しました。現時点で計画している事業も、気
を抜けば2年間では難しいくらいのボリュームで
す。現在の委員会体制ができて5年、このまま停
滞することなく、さらに2年間で目に見える形
の成果を出すためには、ここから先、それくらい
己を追い込む覚悟と姿勢が求められます。委員各
位にはその使命を十分ご認識いただき、ご理解を
賜りますようお願いいたします。検討委員一丸とな
り前を向いて一步一步確実に歩んでまいります。

平成23年6月1日(水)

山 陽 新 聞 朝 刊

第27面

多額の義援金
山陽新聞社会事業団
東日本大震災の被災
者を支援しようと、岡
山市北区柳町の山陽新
聞社会事業団(越宗孝
昌理事長)には31日も
団体から多額の義援金
が寄せられた。
県歯科医師会(同市、

阪本専務理事に目録と募金
箱を手渡す酒井会長(左)

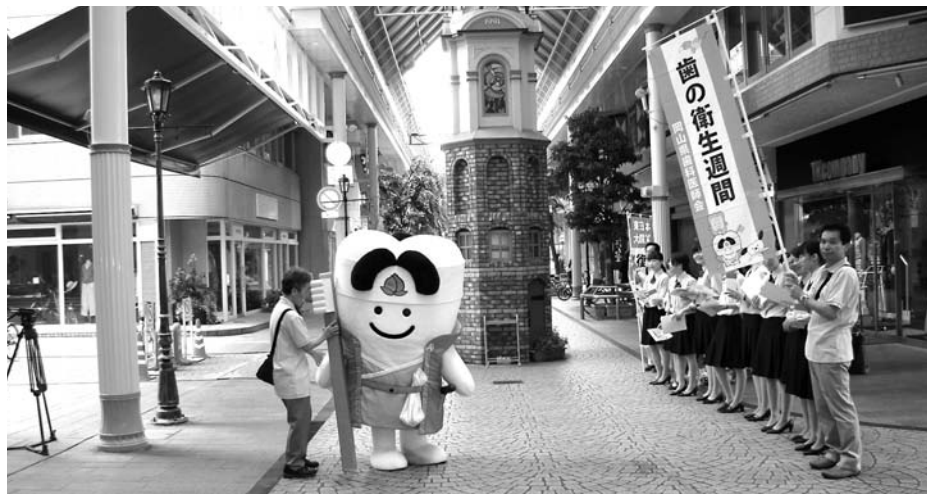


酒井昭則会長)は震災
から約2カ月の間に集
まった患者らの募金4

25万1747円を寄
託。酒井会長は「今後
も引き続き協力を呼び
掛けたい」と話し、阪
本文雄専務理事に目録
と募金箱を手渡した。
(4面に名簿)

「県歯 歯の衛生週間活動報告」

岡山県歯科医師会では、6月4日(土)「山陽新聞」の朝刊と夕刊に歯の衛生週間PR広告(社会面フルカラー全5段)を掲載した。また翌日の5日(日)には、午前10時より県歯役員、広報部委員、県歯事務職員、倉敷歯科医師会会員、岡山高等歯科衛生専門学院から講師の先生方と学院生40名にご協力をいただき、岡山・倉敷の3ヶ所で歯の衛生週間活動を行った。これに併せて、各会場において東日本大震災復興の街頭募金活動も行われた。



シンフォニー前

歯の衛生週間活動として岡山市内の商店街「表町」の2ヶ所で「もも丸」着ぐるみによるイベントを開催し、倉敷市「くらしき健康福祉プラザ」では「第15回 歯の健康フェア」に参加した。3ヶ所すべてに「歯の衛生週間」と「東日本大震災 復興支援」の2種類の幟を用意し、「小さな歯から大きな健康」をテーマにした歯の衛生週間用リーフレット3,000枚と音波ブラシが当たる間違い探しクイズ3,000枚を配布しながら県民に対して「歯の大切さ」を呼び掛けた。また、併せて行われた東日本大震災復興の街頭募金では、学院生による募金呼び掛けと身元確認のため宮城県入りした県歯会員6名による活動状況の写真パネル紹介が行われた。この街頭募金により集まった貴重な義援金は、県内約1,000歯科診療所に設置されている募金箱の義援金と同様に、学院生により山陽新聞社会事業団に被災地復興資金として後日届けられる予定である。

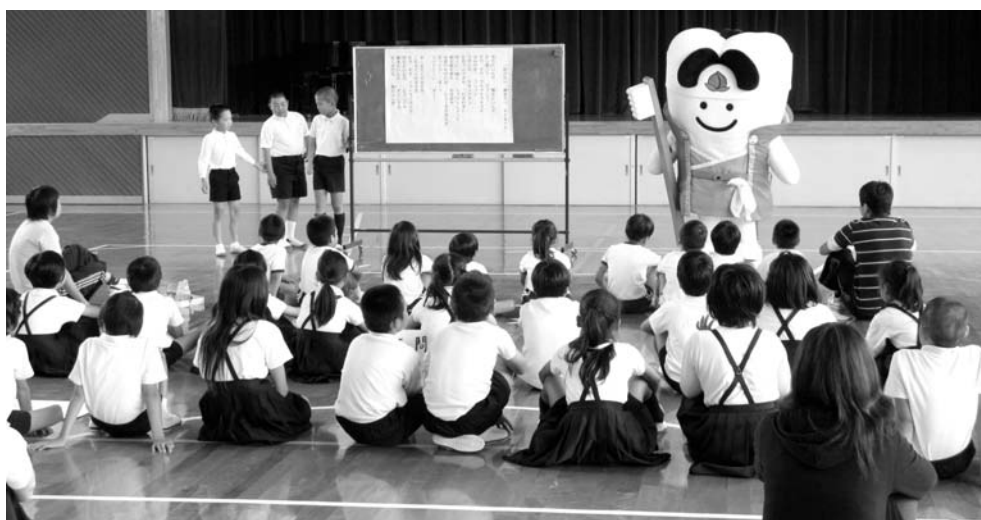


くらしき健康プラザ

当日の活動状況は、TSC「テレビせとうち」の夕方のニュースや地元紙で紹介され、県歯が行った歯の衛生週間活動の県民への周知がなされた。

また6月5日(日)には、支部ランチプロジェクトとして新見支部で「歯の衛生展」、津山支部で「口腔フェア2011」が開催された。

もも丸くん、仁美小学校に出現！！



6月9日(木)赤磐市立仁美小学校（児童数37名）で歯の衛生週間中の取り組みとして「よい歯の集会」が行われた。集会は全児童と教職員が体育館に集合、養護教諭の細野先生指導のもと児童代表の進行で始まった。

校長先生の歯の大切さのお話。各学年の寸劇や目標・標語の発表。「歯ぴかぴか賞」の表彰と続いた後、学校歯科医 戸川宗昭先生がまとめと講評をされて終わりとなるところでしたが、戸川先生より急に「お～い、もも丸くん！！」の大きな掛け声が発せられると突然もも丸くん（赤磐支部広報モニター 高宮 努先生）が上手より登場。場内はびっくりした児童の大歓声につつまれた。

この企画は事前に児童に知らせることなく準備されていたため、そのインパクトは大変なものであった。もも丸くんは舞台中央で全児童の歌う「知りたい 聞きたい もも丸くん」のメロディーに合わせた絶妙な踊りを披露し、会場の興奮は最高潮に達した。

県歯イメージキャラクター「もも丸」がこの様な会場に登場したのは初めてであり、不安もあったが児童への反響は想像以上で新しい「もも丸」の活用法として期待できるものであった。

この企画に対して仁美小学校の皆様、学校歯科医の戸川先生、支部モニターの高宮先生に心より感謝申し上げます。

（常務理事 鈴木聖次）

「歯の衛生週間」 対外広報活動報告

広報部（対外広報）では、今年度の「歯の衛生週間」にあたり、クイズ形式による新聞広告を企画実施いたしました。広告は「小さな歯から大きな健康！」の標語と岡山県歯科医師会のイメージキャラクター「もも丸ファミリー」の“歯科訪問サポートセンター問い合わせ”の絵柄で構成された、歯の衛生週間クイズ「まちがい探しにチャレンジ」で、6月4日(土)付けの山陽新聞朝刊社会面の下段にカラーで掲載と、同日の夕刊にもカラーで掲載されました。また、6月5日(日)に表町の2ヶ所とくらしき健康福祉プラザで、チラシとして配布しました。先生方のお目にとまりましたでしょうか？

応募の方も昨年同様に1,000通を超え、1,080通（正解者 987通）のハガキが寄せられました。その内訳は、女性が7割半を占め、特に年齢60歳代の方から最も多くの応募を頂きました。

応募ハガキには解答の他に「お口の健康で心がけている事」を記入してもらうようにしておりました。そこには、「ただ歯をみがくではなく歯の健康を考えて食事をする！」「お茶でうがいをする！」「歯間ブラシ！」「糸ようじ！」等セルフケアへのこだわりの他、「かかりつけの歯科医院での定期検診を受ける！」というプロのケアを重要視している記載が多くありました。口腔の健康に対する熱意や関心の深さを窺わせる様々な意見を頂き、これからの対外広報活動の参考となる貴重なデータを収集することが出来ました。

そして、正解者の中から6月23日(木)に厳正な抽選の上、「音波歯ブラシ」の当選者10名と「もも丸ファミリーシール」の当選者100名を決定し、それぞれの方に賞品をお届けしました。

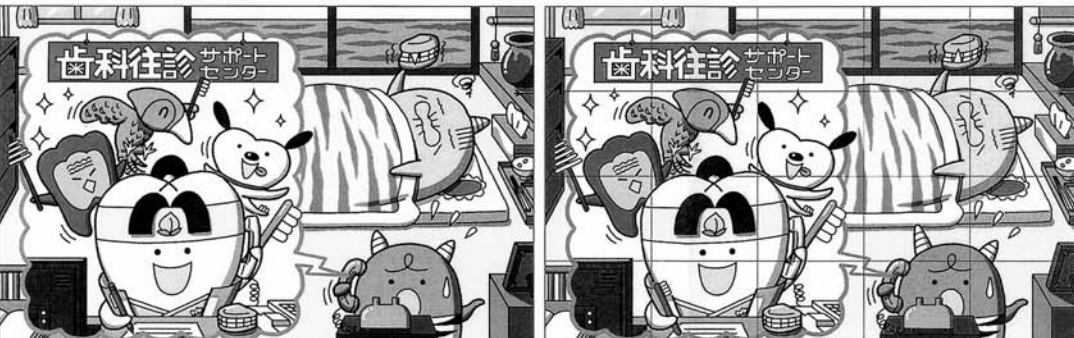
広報部ではこれからも県民の口腔衛生への意識の向上のため、より効果の上がる広報活動を展開していきたいと考えております。今後の企画に関するご意見、アイデア等ございましたら、ぜひ広報部までお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

(委員長 石井源久)

歯の衛生週間クイズ
「まちがい探し」にチャレンジ！ 6月4日(土)から10日(金)は歯の衛生週間です。

小さな歯から大きな健康！

寝たきりで歯医者に行けない歯の悪い、歯科往診サポートセンターのもも丸に電話をかけました。同じように見える右と左の絵ですが、よく見ると、違うところが7カ所あります。それはエリア表A～Tの、どのエリアでしょう？ 全部探して、アルファベットで答えてください。※印刷の汚れやカスなどは、まちがいに入りません



岡山県歯科医師会
http://www.oda8020.or.jp/

歯科の往診を希望される方は歯科往診サポートセンター
TEL.086-224-1255 へお問い合わせください

岡山県歯科医師会では、「東日本大震災」義援金募金箱を
岡山県内の各歯科医院に設置しておりますので、ご協力
をお願いいたします。

**「音波歯ブラシ」を
10名様にプレゼント！**

正解者の中から抽選で、特賞として10名様に「音波歯ブラシ」が当たります。また100名様に「もも丸ファミリーシール」をプレゼント。なお当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法
郵便はがきに以下の項目を必ずご記入の上、表記の宛先までご郵送ください。

〒700-0813
岡山県歯科医師会
岡山県北石井町1-15
係行

- ① クイズの答え
- ② 郵便番号・住所
- ③ 氏名(フリガナ)
- ④ 年齢
- ⑤ 性別
- ⑥ 職業
- ⑦ 電話番号
- ⑧ お口の健康で心がけている事

【応募締切】 2011年6月10日(金)消印有効

※ご記入いただいた個人情報(住所・氏名・電話番号等)は、岡山県歯科医師会が賞品を発送するため利用いたします。なお、個人情報については、岡山県歯科医師会が責任を持って管理いたします。

Monthly Dental News Review (83)

平成23年

5月12日(木) ▶ 日歯会員の平均年齢
11年で4歳以上アップ
会員数は2年連続で減少

13日(金) ▶ 参院厚労委員会
歯科保健条例で西村議員が質問

平成22年度の日本歯科医師会会員の平均年齢が56。1歳と過去最高になることが日歯の調べで分かった。前年度と比較すると0.04歳、12年度と比べると4.07歳高くなっている。会員の高齢化が進む背景には、若年層の会員数の減少など未入会者問題が大きな要因になっている。さらに高齢化が進めば、日歯福祉共済制度の運用、組織率などの面で影響が出てくる可能性が大きい。

民主党の西村正美参議院議員は2日に開かれた参議院厚生労働委員会で東日本大震災における被災者への健康を守るために、口腔ケアの重要性を訴えると同時に歯科保健に関わる基本法の制定の必要性を強調し、政府の対応を質問した。大塚耕平厚労副大臣は「避難生活が長期化する中で誤嚥性肺炎の予防などの観点から歯科保健医療の確保は重要」との認識を示した。

（略）

西村議員は、大塚副大臣の答弁に対し、「口腔ケアが大切ということを認識していただいていることに感謝する」と述べる一方で、「歯科に係る法的な整備ができていない」と指摘。「国民の健康寿命の延伸を図る意味で、歯科に係る基本的な法的整備をお願いしたい」と強調した。

20日(金) ▶ 歯科医院倒産・4月は3件

帝国データバンクが集計した2011年4月の歯科医院の倒産は3件、負債総額1億円で、前年同月に比べると1件増えたが、負債総額は4200万円減った。1～4月までの倒産総件数は6件、負債総額は4億円で、前年に比べ1件、負債総額で9800万円増えた。〈略〉この10年間では09年の15件が最も多い。09年の1～4月までの倒産は8件となっている。11年の6件は年間の倒産件数のペースとしては早い方にある。

26日(木) ▶ 日歯と宮城県歯

“口腔清掃セット” 避難所で配布

日本歯科医師会（大久保満男会長）と宮城県歯科医師会（細谷仁憲会長）は20日に同県石巻市の避難所で歯ブラシや入れ歯洗浄剤入りのポーチを配布する「歯のトコロどけるプロジェクト」を実施した。

（略）

日歯では、今後、福島、岩手の被災地にも配布していく予定。

27日(金) ▶ 私立歯大・歯学部10校で定員割れ
平成23年度入試結果で判明

私立歯科大学・歯学部17校中10校が定員割れを起していることが、平成23年度の歯科大学・歯学部（歯学科）の入試結果で分かった。国立大学では1校が定員割れしている。

30日(月) ▶福島で東北地区「義歯名入れ」保険に 歯連合協議会 山形県歯会長 身元確認時の有効性説く

第86回東北地区歯科医師会連合会役員連絡協議会が28日に福島市内の県歯会館で開かれ、東日本大震災への対応などについて協議した。意見交換の中で山形県歯の石黒慶一会長は、遺体の身元を確認する上で義歯の名入れは非常に効果的だとし、名入れの行為について保険点数に導入すべきとの考えを示した。

▶定額負担に反対

日歯大久保会長

日本歯科医師会の大久保満男会長は、厚労省が社会保障改革で、患者負担の3割に100円程度の定額負担を新たに検討していることについて、反対する考えを明らかにした。

26日の会見で述べたもので、3割負担は既に社会保障の限界を超えている。定額負担は高額医療費の患者負担を減らす分に使われるようだが、それであつても厚労省案には同調できないと述べた。また、「東北地方の再建のためにも国民の健康は非常に重要で、これ以上の患者負担増には応じられない姿勢を明確にした。

31日(火) ▶社保2月歯科診療分

件数・点数とも増加

診療種別支払確定件数及び点数

(23年2月診療分)

社会保険診療報酬支払基金による平成23年2月診療分の総計確定件数は75万3千133件、点数は1億313万6千点で前年同月に比べ、件数・点数とも7.3%増加した。

診療種別		件数	対前年 同月比	構成 割合	点数	対前年 同月比	構成 割合
総計		千件	%	%	千点	%	%
総計		75,313	107.3	100.0	113,300,316	107.3	100.0
医科	計	42,187	106.3	56.0	81,113,587	107.4	71.6
	入院	771	100.3	1.0	34,499,549	107.4	30.5
	入院外	41,416	106.4	55.0	46,614,038	107.4	41.1
歯科		8,956	102.4	11.9	10,888,895	101.3	9.6
調剤		24,132	111.2	32.0	21,297,834	110.5	18.8
食事・生活療養費		667	99.8	0.9	—	—	—
訪問看護療養費		39	113.1	0.1	—	—	—

(注) 件数の総計は、食事・生活療養費を除く数値。点数の総計は、食事・生活療養費、訪問看護療養費を除く数値。社会保険診療報酬支払基金の統計月報を基に本紙で集計したもの。

6月6日(月) ▶被災会員に全面的支援 日歯連盟 会費減免や見舞金など 臨時評議員会

▶日歯の義援金、総額約3億円

日本歯科医師会(大久保満男会長)は、東日本大震災における義援金が総額で2億9885万9680円になることが分かった。

日本歯科医師連盟(高木幹正会長)は3日に新執行部発足後、初となる第113回臨時評議員会を開き、東日本大震災被災会員に総額1億円程度の見舞金を送ることを了承した。議事では被災会員の会費減免の特別措置など5議案を賛成多数で可決した。また、高木会長は、与党議員らに早急な第二次補正予算を求めていることを明かすとともに会員のニーズに沿った迅速な支援を約束した。

政府の社会保障改革に関する集中検討会議(議長・菅直人首相)は、社会保障財源を安定的に確保するため、2015年度までに消費税を10%まで段階的に引き上げる文言などを盛り込んだ改革案を2日に取りまとめた。また、財源確保の一環として患者窓口負担に定額制を導入することの検討も提案している。

8日(水) ▶患者窓口負担 定額制の導入を検討 政府が社会保障の財源確保で

第2回 社会保険部検討委員会報告

平成23年5月7日(土) 16:00~18:00

1. 報 告

(1) 4月新入会員 正会員3名

(2) 中国四国厚生局岡山事務所と面会 4月7日(木) 17:30

4月28日(木) 16:30

伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事

(3) 支払基金幹事会 4月11日(月) 14:00

・平成23年1月診療分

前年同月対比 支払額 101.6% 件数 102.0%

前 月 対 比 支払額 92.2% 件数 93.9%

・本人 レセプト1件当たりの平均点数

平成22年12月診療 岡山県 1,296.6点 全国平均 1,304.7点

平成21年12月診療 岡山県 1,328.0点 全国平均 1,313.9点

前 年 同 月 対 比 岡山県 97.6% 全国平均 99.3%

・家族 レセプト1件当たりの平均点数

平成22年12月診療 岡山県 1,028.4点 全国平均 1,076.1点

平成21年12月診療 岡山県 1,042.9点 全国平均 1,077.7点

前 年 同 月 対 比 岡山県 98.6% 全国平均 99.9%

(4) 中国四国厚生局との協議会事前打合会 4月21日(木) 16:30

伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事

(5) 九州歯科大学岡山県同窓会社保講習会 4月24日(日) 14:00 岡山プラザホテル

森下 検討委員

(6) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 4月26日(火) 13:30

伊丹 常務理事 新規指定医療機関 1 医療機関

(7) 社会保険部正・副委員長会 4月26日(火) 20:00 第1会議室

伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事, 後藤 委員長,
佐藤 副委員長, 友澤 副委員長

(8) 福岡歯科大学岡山県同窓会社保講習会 4月30日(土) 19:00 第2会議室

皆木 検討委員

(9) 社保相談窓口報告

(10)国保審査委員会報告（レセプト1件当たりの平均点数）

平成22年12月診療	国保	1,369.9点	後期高齢者	1,613.8点
平成21年12月診療	国保	1,397.4点	後期高齢者	1,633.6点
前年同月対比	国保	98.0%	後期高齢者	98.8%

2. 行事予定

(1)中国四国厚生局との協議会

5月12日(木) 16:30 第2会議室

伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事, 後藤 委員長

3. 協 議

(1)検討委員会からのお知らせ

(2)今後の事業について

公衆衛生部

第18回日本歯科医療福祉学会大会・総会 地域医療連携－人々の健康と生活を支える連携とは－ 後記



標記大会が5月15日(日)に岡山大学創立50周年記念館で開催された。歯科医療、福祉関係者や市民をふくめて約300人の参加があった。

教育講演では三豊総合病院歯科保健センター木村年秀医長が、香川県シームレス研究会の取り組みとして地域医療連携における口腔管理の実態を報告した。歯科は在宅チームとして活動し、歯科在宅パスシートには病院歯科から転院先病院・施設や在宅療養支援歯科診療所からケアマネジャーへの情報提供に使用している。

また、香川県歯科医師会の在宅歯科医療連携室と連携をとり、訪問歯科診療希望者の訪問歯科医療提供体制を整備している。パスシートを誰にどのように渡すか、そして受け取った後どのように活用するかが大切で、月1回集まることも大事だと述べた。続いて、医療法人おがた小児歯科医院 緒方克也理事長が社会福祉から見た歯科医療についての問題点など提起した。ランチョンセミナーでは東京歯科大学 石田 瞭講師が訪問診療を通じて、摂食・嚥下リハ、口腔ケア、義歯をはじめとする歯科治療を全て引

き受けることが可能なのは歯科の特権とも捉えられるとし、そのためにも連携会への積極的な参加，ケアマネジャーとの関係強化など顔の見える関係が大切だと強調した。

シンポジウムとして、まず、角谷真一委員長が「糖尿病」と「もも脳ネット」について岡山市での医療連携の現況を報告した。前者は県内医療機関からの歯科への連携で、後者は県南東部を中心とする急性期・回復期・維持期の計73病院が参加する多職種による地域医療連携である。後者の「脳卒中」と「大腿骨頸部骨折」の連携パスにおいて、急性期～回復期パスでは歯科項目が追加され急性期病院と歯科医師会の連携が確立し、回復期～在宅の連携パスではケアマネジャーによる歯科との連携を図ることにより医師会の先生とも歯科連携システムを構築しているところである。いずれもまだ十分に機能しておらず、検証中である。続いて、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの松尾敬子歯科衛生士は、口腔機能管理が全身の健康維持や回復に繋がることを事例をもって紹介するとともに、情報提供書などによる「伝える」から個々に合った「引き継ぐ」ケアが重要であると述べた。最後にあいの里クリニック 森光 大次長が管理栄養士とケアマネジャーの立場から介護・医療保険制度のインセンティブにより地域連携と栄養管理の仕組みは整備されてきたが、退院後や在宅における栄養管理システムはまだ不十分であると報告した。討論は歯科における地域医療連携を中心に行われた。歯科も他職種との連携に参加すること、口腔ケアから口腔機能改善まで歯科医療を広く理解してもらうこと、歯科衛生士が活動しやすい環境づくりや現場からのニーズを訴えるなど違う方面からの貴重な意見が出された。

川崎医療福祉大学 佐々木正美特任教授による市民公開講座では、子供の健全な育成には母性が十分に機能した後に父性を与えるという順番が大切であることや、家庭内での機能が充実するためには家族が家庭外の地域社会で親密な人間関係の営みを持つことが重要であること等興味深い内容だった。これは医療と福祉を考える上でもヒントとなるのではないだろうか。

(副委員長 岡崎 景)

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定 ×印 閉館予定

	3日(日)	10日(日)	17日(日)	18日(月・祝)	24日(日)	31日(日)
7月	×	×	×	×	○	○
					10:00～15:00	10:00～15:00
	7日(日)	13日(土)～15日(月)	21日(日)	28日(日)		
8月	○	×	○	○		
	10:00～15:00		10:00～15:00	10:00～15:00		

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

医療管理ニュース

保健所による

医療監視が、始まります!!

※通常、医療監視は、保健所職員が医療機関に立ち入りの上、実施されます。

医療監視とは、医療法第 25 条に基づいて、通常、保健所が行う医療機関の調査のことで、その内容は多岐に渡りますが、最近問題が生じた事例が重点調査の対象となります。
例えば

- (1) 医療従事者の資格
- (2) 診療用放射線装置の管理体制
- (3) 感染性廃棄物の処理状況（委託契約書、マニフェストの確認）
- (4) 麻薬及び劇毒薬などの管理状況

等がそうです。

岡山市保健所、倉敷市保健所において、今年度より「医療監視」が始まります。他の保健所においても、今後実施が予想されますので、岡山市・倉敷市の現状をお知らせします。

【岡山市】

市内すべての診療所に対して「医科・歯科診療所自主点検強化事業」が始まります。これは、保健所から送付された「診療所自主点検票」を管理者自身がチェックし、法令の再確認などを通じて診療所内での医療安全や衛生管理の向上に役立てることが目的です。

回答は、集計・分析の上、結果報告書としてまとめられ、今後の診療所の医療安全の推進と指導のための資料となります。また、今回の報告書に基づき医療安全および衛生管理における傾向と特徴が報告され、岡山市主催による安全管理に関する研修会も実施される予定です。

【倉敷市】

「歯科診療所自主点検調査票」による自主点検が実施されます。調査は5年を1クールとして、管内の全医療機関に対して実施する予定で、今年度は25医療機関（倉敷歯科医師会13医療機関、その他の支部12医療機関）に調査票が送付されました。

回答がない場合、改善のない場合は、何らかの指導が行われるとの事です。

医療監視に対し、医療法第 25 条の規定に基づく立ち入り検査要綱を確認の上、各項目に不備がないか注意しておく必要があります。
また、「医療安全管理必携」の必要事項は、必ず記入して下さい。

新入会の正会員の先生を紹介する新コーナー

新人です…よろしくお願いします。

なか つか ひろ あき
中 塚 浩 章



児島支部

中塚歯科医院

〒711-0911 倉敷市児島小川7丁目2-53

TEL (086) 473-0934

FAX (086) 472-9544

生年月日 昭和46年10月5日(39歳)

出身大学 徳島大学歯学部

経歴・職歴 平成8年3月卒業

徳島大学歯学部医局「第一補綴科」に在籍

徳島県内の歯科医院へ勤務

平成16年に父親のもと中塚歯科医院に勤務

平成22年に開設者となり現在に至る

入会日 平成23年5月6日

趣味 若かりし瘦せていた頃はダイビングとスノーボードでしたが、現在はパソコンのサーバー・クライアントPCの保守・修理は自ら行います。

抱負 浅学非才の身ではありますが、地域の歯科保健向上に少しでも貢献できるよう頑張る所存ですので、ご指導の程、宜しくお願いします。

厚生部

文化事業部会

平成23年度 レクリエーション大会
(東日本大震災復興支援チャリティー大会)

麻雀

『2011.3.11』を忘れません。この夏、会員の絆を深めるチャリティー麻雀大会を企画しました。
冷たい飲み物を用意してお待ちしております。

○日 時 平成23年8月20日(土) 午後6時

○場 所 竹屋麻雀クラブ
岡山市北区南中央町1-14 TEL 086-223-4832

○参加費 2,000円

○申込 同封FAXシートに必要事項ご記入の上7月30日(土)までにお申し込み下さい。
詳細は後日参加者にご案内します。

ご不明な点は担当 浅野 透 (TEL 0863-31-7722) までお問い合わせ下さい

赤磐支部

救急蘇生講習会

平成23年5月12日、赤磐支部では県歯学部救急蘇生講習班の先生をインストラクターにお招きし、救急蘇生講習会を行いました。AEDを用いての救命処置は、今や誰でも行えるものであり、医療従事者である歯科医師がその使用をスムーズに行えるのは当たり前の事と考えます。

講習会では、成人BLS（一時救命処置）・小児BLS・気道異物による窒息を中心に、AEDを用いた救命処置の手順から詳しい使用法・注意点などを参加者が三人一組になりインストラクターの先生から指導を受けました。

胸骨圧迫による心臓マッサージでは圧迫する位置や回数、深さなど、私が学生の頃に習った事と少し今は改良されていました。実際にマネキンを使って傷病者の発見から一連の流れに沿って最終的に救急車が到着するところまでデモを行い、大変解りやすい内容でした。

また、気道に異物を詰まらせた人に対する気道異物除去の方法として、ハイムリック法と背部叩打法を習いました。この実習においてもそれぞれマネキンを使い、処置が成功すると詰まった異物が口から出てきて、こちらもまた大変解りやすい説明でした。

もしもの時に必ず活かせる、大変勉強になった講習会でした。

（モニター 高宮 努）



岡山支部

第199回学術臨床放談会のご案内

前月号でご案内の通り岡山市歯科医師会では、下記の通り講演会を企画いたしましたので改めてご案内申し上げます。

現在、インプラントは各社多くのものが発売されています。そして販売元からは良い情報しか得られないのが現状です。インプラント治療では非常に経験豊富な久保田先生に、良い情報だけでなく気を付けなければならないところなど本音を包み隠さずお話していただく予定です。

お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

岡山市歯科医師会研修部

日 時：平成23年7月16日(土) 午後7時～9時30分

場 所：岡山県歯科医師会館 5階大ホール

演 題：「世界の最新歯科インプラントシステム」

—登場から現代までの進化と、その未来—

講 師： 久保田 敦 先生（愛媛県松山市開業）

講演抄録文

近年の応用生物学と科学技術の急激な進化は、歯科インプラント治療に大きな衝撃を与えた。さまざまな医薬品・医療機器の輸入許認可に高い壁のある日本では、これらを実感することは少ないが、既に日本以外の国と日本とで、この分野はまったく別の治療と言っても過言ではない。今回は、短い時間であるが、2010AO（Academy of Osseointegration）サミットにおけるレポートの総括の中から、特にインプラント表面の進化について、過去の歴史を交えてご説明させていただければ幸いである。

倉敷支部

「第35回 歯の健康フェア 報告」

倉敷歯科医師会 公衆衛生部を中心に過去の成果と反省を鑑みながら、決して前年度の焼き直しにならないよう、常に更なる高みを目指してきた「歯の健康フェア」。今年もその季節がやってきました。汗ばむくらいの陽気となった6月5日(日)、くらしき健康福祉プラザにおいて倉敷歯科医師会ならびに岡山県歯科医師会が主催する「第35回 歯の健康フェア」が開催されました。先ず、フェア統括責任者である倉敷歯科医師会の三上会長、また岡山県歯科医師会の酒井会長をはじめ来賓の方々の御挨拶によりフェアは肅々と幕を開けました。



今年の講演会は「お弁当の日」で学校教育や家族の在り方に一大革命を起こされた竹下和男先生（元 綾川町綾上中学校長）を招聘し、『どうして弁当の日なのか 子どもたちの心に育まれたもの』と題して御講演を頂戴しました。流石に先生のお名前は世間にも広く浸透しており、早朝にも拘らず講演に先立っての開始式から会場は多くの来場者の方々に埋まっていました。

学級崩壊、モンスターペアレンツ、家庭環境の荒廃、コミュニケーションや礼節の欠落、日本文化継承寸断の危機…様々な問題の渦中で翻弄される子供達。我々大人たちは今何をしてあげるべきか、何をせねばならないのか？ 竹下先生は「弁当の日」を実践することにより、その中で子供達は独自に学び、大人たちは子供と同じ目線・歩調に立って何が大切なのかを考える。それが教師と子供、学年を越えた子供達同士、ひいては親と子供…失われ、退廃しつつある「人間の絆」の回復につながるのだと、聴講者に諭してくださいました。質疑応答を含めると2時間以上に及びましたが、時に目頭が熱くなるほどの感動が湧き上がってくる素晴らしい講演会でした。

会場各フロアでは「健康クイズ」や「虫歯菌テスト」、技工士会の協力による「指の石膏模型作り」、衛生士会による「フッ素洗口」など数多くのイベントを以て来場者の方々に口腔内の健康についての啓蒙活動を展開しました。

CR充填や印象採得を不慣れながら一生懸命やっている「歯医者さん体験コーナー」の子供達、「カムンジャーショー」に興奮の歓声を上げる子供達…どちらもその傍で、我が子を優しく見守られている御両親の姿が印象的でした。



「カムンジャー」と「歯医者さん体験」は健康フェアのエポックメイキングと謳われ(!?), これ以上にインパクトのある企画を生み出すのは至難の業…しかしその人気に甘んじる倉敷歯科医師会 公衆衛生部ではありません。苦労の末、産声を上げたのが「わくわくキッズ☆キッチン」でした。管理栄養士で倉敷市食育推進会議委員でもあり、料理教室「わくわくキッズ☆キッチン」主宰の有井京子先

生と堀 麗子先生 指導のもと、子供達だけ（親の助けなし）で下拵えからお弁当箱につめる所までやり遂げるという、竹下先生の講演にも通じる、まさにタイムリーな企画でした。おにぎり2種、鶏の照り焼き、新ごぼうのゴマ衣、卵焼きにブロッコリーの炒め蒸し等々。大人でも二の足を踏むような献立の数々を、最初は緊張気味で表情の硬かった子供達も互いに打ち解け、助け合ってお弁当を作っていました。

担当のフェア実行委員が悪戦苦闘している子供達をデジカメで撮影、その場でプリントアウトしたものを廊下の掲示板に張り付け、御両親が希望の写真番号を紙に書いて申し込むと、後日ご自宅へ写真が郵送されるアイディアも大変喜ばれました。カメラを向けても決して顔を作らずいつでも自然体…ごぼうのさがきが上手く出来ず困惑気味な表情、卵焼きを巻くときの真剣な表情、フォークを使って鶏の下ごしらえをしている時の楽しげな表情、そして自力で作ったおかずの数々をお弁当箱につめ、完成した時のあの感極まった何とも言えない笑顔…フェア実行委員にとって何にも勝る子供達からの御礼であつたに違いありません。

今年のフェアは竹下先生の講演を筆頭に、人同士の触れ合い、交流の大切さを意識することが多かったように思います。現代社会において廃れつつある近隣同士の助け合いや交流が、あの悪夢の大震災の後、何よりも大切であると再認識されたのは皮肉な事でした。本フェアにおいても年齢、性別、家族、所属、職業や肩書きなど様々な垣根を越えた人と人との触れ合いが数多見られました。遠く離れた東北の地で被災された人々のことを思い、会場で岡山高等歯科衛生専門学院の学生さん達が震災復興の募金活動を行ってくれた姿も深く心に残りました。

フェア終了後は倉敷国際ホテルに於いて懇親会が催されました。多くの御来賓が列席された中、互いの健闘を讃えながら皆、美酒美食に酔いしれつつ倉敷の夜は更けて行きました。



「やれやれ終わった」と息つく間もなく、早くも倉敷歯科医師会 公衆衛生部は来年のフェアに照準を合わせて活動を開始しています。来年もまた新たな人と人との交流が生まれ、育まれていくことを願いつつ「第35回 歯の健康フェア」の報告を終わらせて頂きます。

（モニター 木村世紀）

「サイクリング」

岡山支部 平松 之典

最近サイクリングを始めました。

一年ほど前にロードバイクを購入したのがきっかけです。もともと自転車には興味があったのですが、買うのなら速くてカッコいい自転車がいいなと思い、イタリア製のCOLNAGOというロードバイクに決めました。高いものになると50万・100万とするものもありますが、開業前の入り用の時期ということもあり、ロードバイクの中では少し安めの物（しかもご近所の自転車屋さんということでまけてもらいました）を選びました。

購入してからというものの通勤や街乗りには出番がありますが、開業後の忙しさもありなかなか日中に遠出をするということができません。宝の持ち腐れ状態だったのですが、先月（現在5月）遂にサイクリングに行くことができました。その日は休診日で、午前中に雑用を済ませ午後からは時間が空いたので国分寺まで往復することにしました。国分寺を選んだ理由は、小学校6年生の時に同級生4人でサイクリングに行ったことがあったのと、吉備路自転車道というサイクリングコースが国分寺まで通じているということ。国分寺で桜も見れるし往復すればサイクリングにはちょうどいい距離だと思ったのです。小学生の時、しかもママチャリでさえクリアできたことですから、このスーパーマシンを手に入れた今、私にはわけがないと多少高をくくり臨んだわけです。

往路は大変でした。早い時点でコースを見失ってしまった（意外と分かりづらい）のと向かい風が原因です。結局コースとは違う山道を通ってしまい、急勾配に苦戦しました。

何とかたどり着くことができ自転車を置いて、五重塔の脇にある芝生に寝転び疲れを癒します。見上



げると桜が風に吹かれるたびに散っていく様はとても風情であります。しかし実際はそんな余裕はなく、とにかく体を休めることに集中します。（こんなはずではなかったのですが・・・）あまり休みを取り過ぎると帰るのが億劫になると思い、15分ほどで切り上げ後半に臨みました。

復路。今度はコースを見失わないように標識（コースを示す看板がところどころに設置）に意識を集中させ、ペダルをこいでいきます。往きと反対で追い風に後押しを受け、気持ちよくマシンは走ります。結局往路の3分の2の時間で到着。途中、予想外に苦戦はしましたが、すがすがしい運動ができました。

次は景色の綺麗な自然の中、蒜山を走ってみたいです。

次回は伏屋 昇 先生（岡山支部）をご紹介します。

会 員 異 動

5 月末日現在 正会員数 1,040 名

◎番号の変更

藤田 和久 正会員 P42 都窪支部

FAX (086) 281-2323

◎住所の変更

黒住 祐之 正会員 P39 玉島支部

[新] (診) 倉敷市玉島柏島1580-1

◎名称の変更

特別会員 P66 笠岡支部

財団法人 仁和会 笠岡病院

[新] 財団法人 仁和会 ももの里病院

(P = 会員名簿のページ)

7月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬割会費 (社保, 国保 4 月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除)

2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割, 均等割保険料調定額
(2) 収入割保険料 (平成22年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$)

3. 日本歯科医師会

- (1) 年金拠出金 (8 月分)
(2) 福祉共済負担金 (8 月分) 8,500円

5月 会の動き

6 日 編集委員会

広報部会

厚生部共済事業部会

7 日 社保 審査・検討小委員会

社保 検討委員会

9 日 IT推進委員会小委員会

10日 学術部救急蘇生講習班会

公衆衛生部小委員会

国保組合 理事会

12日 理事会

編集委員会

山陽新聞事業社と打合せ

身元確認派遣歯科医師壮行式

中国四国厚生局岡山事務所との協議会

赤磐支部救急蘇生講習会

13日 日学歯 公益法人制度改革検討委員会

14日	第13回三地区歯科医師会親善野球大会監督会議，前夜祭（香川）	20日	本会学院 教務会議
15日	第18回日本歯科医療福祉学会 第13回三地区歯科医師会親善野球大会（香川） 四国地区「平成23年度日歯生涯研修セミナー」（愛媛）	22日	学術集談会講師打合せ
16日	支払基金幹事会	23日	編集委員会 岡山県国民健康保険団体連合会理事会
18日	医療管理部 正・副委員長会 日学歯 理事会 身元確認派遣（～24日） 東北三県見舞金持参（～19日）	24日	厚生部文化事業部会 学術部正・副委員長会 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
19日	理事会 編集委員会 山陽新聞事業者と打合せ 平成23年度岡山県学校保健会第1回理事会・評議員会 岡山県医療安全相談連絡協議会 県教育庁と打合せ 日学歯 日歯三役との懇談会	25日	総務部調査事業部会 医療管理部小委員会 岡山県愛育委員連合会・恩賜財団母子愛育会 岡山県支部平成23年度総会
		26日	理事会 常務理事会
		27日	公衆衛生部小委員会
		30日	社会保険部正・副委員長会
		31日	朝日新聞社取材 学術部図書打合せ 厚生部文化事業部会小委員会 山陽新聞社会事業団へ義援金持参

7月 本会の予定

7月 1日	編集委員会	6日	医療管理部会 厚生部文化事業部会小委員会 日学歯 第1回学術小委員会第1部会
2日	社保 審査・検討小委員会 社保検討委員会 平成23年度第1回審査委員・検討委員 連絡協議会	7日	理事会 編集委員会 平成23年度第1回岡山県へき地医療支援会議
3日	日学歯 第33回学校歯科保健研修会講師打合せ会	9日	第52回日本歯科医療管理学会総会・学術大会（神奈川～10日）
4日	岡山県医療審議会（医療法人部会）	14日	理事会 編集委員会 岡山県国民健康保険団体連合会理事会
5日	学術部正・副委員長会 平成23年度岡山県介護保険関連団体協議会総会 国保組合 理事会		

19日	平成23年度公正採用選考人権啓発推進 員研修会		代議員合同会議
20日	編集委員会 医療管理部正・副委員長会 岡山県老人クラブ連合会平成23年度 「健康づくり・介護予防リーダー養成 講習会」	24日	歯科助手資格認定講習会開講式
21日	倉敷歯科医師会救急蘇生講習会 第35回中国地区口腔公衆衛生協議会	27日	摂食嚥下従事者研修会閉講式 国保組合 第69回通常組合会
23日	中国・四国地区歯科医師会会長・日歯	28日	理事会 第33回学校歯科保健研修会 中国・四 国ブロック（山口）
		29日	本会学院 第1回監査、監事会
		30日	医療管理部小委員会
		31日	歯科助手資格認定講習会(2)

7 月 支部の予定

7月1日	児島支部理事会	21日	倉敷支部救急蘇生講習会
7日	津山支部定例会		勝・英支部定例会
8日	岡山支部第7回理事会 玉島支部役員会	22日	岡山支部第8回理事会
9日	浅口支部総会・学術講演会	27日	津山支部理事会 真庭支部納涼理事会
12日	新見支部理事会	29日	倉敷支部理事会
15日	都窪支部定例会	31日	岡山市四師会役員全体協議会・懇親会
19日	小田支部勉強会		

※ はこちら編集室 ※

蟲 「暑い暑い夏でも・・・」

明 徹 東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

電力需要の高まる夏，節電が呼びかけられています。電力会社のホームページにはさまざまな節電の方法が掲載されています。どの方法もちょっとしたことですが，みんなで実行すれば電力の供給に多少の余裕をつくりだすことができるのでしょう。岡山県では電力の供給に関しては心配いらないようです。節電に限らず，個人個人が自分で考えて取り組む小さな行動は，広い意味で震災復興への一助となり，また，いろいろな面からふだんの日常生活を見つめ直すよい機会になるのではないかと思います。

「あなたが何をするにしてもそれは些細なことでしょう。しかし，それをすることがとても大切なことなのです。(Whatever you do will be insignificant, but it is very important that you do it.)」(マハトマ・ガンディー)

いちばん、
人を考える会社になる。

第一生命

石川遼 のような 生命保険 へ。

順風ライフ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>



ASAHI UNIVERSITY
SCHOOL of DENTISTRY

歯学部

OPEN CAMPUS



歯学部へ一日体験入学

7.28〔木〕・8.25〔木〕

〔開催内容〕

大学紹介、入試概要説明、模擬講義、
実習体験、ランチバイキング、個別相談など

開催時間

10:00～15:00
〔受付開始 9:00〕

9.24〔土〕

〔開催内容〕

大学紹介、AO入試直前対策講座、入試概要説明、
歯科医療の現状と未来、ランチ体験など

開催時間

10:00～13:00
〔受付開始 9:00〕

参加申込、開催内容の詳細は、お気軽にお問い合わせください。

2011年度から学費を改定
(大幅減額)いたしました。

朝日大学 学費減額 検索

Experience

朝日大学
<http://www.asahi-u.ac.jp/>

0120-058-327 入試広報室
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

医療後継者育成は全寮制の秀明学園で

知・技・心の調和のとれたエリートを育て33年…
秀明教育が医療の世界で高く評価されています。

■ 秀明学園の特色 ■

- 月曜登校、金曜帰宅……4泊5日の全寮制
- ムリ、ムダ、ムラのない……中・高一貫教育
- 英国留学2回で……国際人の育成
- 父母と学校の「共育」で……子供の夢を実現

医歯学部主要合格大学

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	54
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	4	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	39
大阪大学	1	日本医科大学	32	岡山大学	1	岩手医科大学	30
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	47	九州歯科大学	3	明海大学	129
千葉大学	6	昭和大学	54	長崎大学	2	神奈川歯科大学	70
筑波大学	1	日本大学	65	鹿児島大学	2	鶴見大学	79
群馬大学	3	東京医科大学	50	東京歯科大学	60	松本歯科大学	78
新潟大学	6	東邦大学	71	日本大学・歯、松戸歯	120	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	7	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	169	福岡歯科大学	2

上記以外、国公立18大学52名 私立17大学818名

※数字は1982年～2011年度の延べ人数 ※順不同

地区別学校説明会

開催日	会場		時間
9月10日(土)	名古屋	ホテルサンルートプラザ名古屋	13:00 ～ 15:00
9月17日(土)	御茶ノ水	秀明学園東京本部	

学校見学会

開催日	会場	時間
10月16日(日)	本校	13:00～15:00
10月30日(日)		
11月13日(日)		

文化発表会

開催日	会場	時間
10月8日(土)	本校	9:00～15:00
10月9日(日)		

説明会・見学会参加、資料ご希望の方は、電話・ホームページで

学校法人 秀明学園

進学相談・学校見学随時受付中

秀明中学校

(併設 秀明高等学校)

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) FAX.049-232-6614

秀明学園

検索

平成23年7月1日発行（毎月1日発行）
昭和42年4月3日 第二種郵便物認可

岡歯会報

7月号

通巻第七七四号

定価一〇〇円

編集人 中村 慶男

発行人 酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一―五（購読料は年会費に含まれる）
岡山県歯科医師会

